

「尿中 L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目の検査委託先より、本年5月末日から測定試薬をCLEIA法による試薬に変更する旨の連絡がございましたので、取り急ぎご案内いたします。本変更により検出感度が向上するとともに、検査所要日数の短縮が可能になります。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■対象項目/変更内容

●[7065] 尿中 L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

変更内容	新	旧
検 査 方 法	CLEIA [富士レビオ]	EIA [シミックホールディングス]
保 存 方 法	冷蔵	凍結(−20℃以下)
報 告 上 限	濃度 200,000 ng/mL 以上	濃度 ∞
報 告 下 限	濃度 0.50 ng/mL 未満	濃度 1.5 ng/mL 未満
報 告 形 態	濃度 小数 2 位、有効 5 桁	濃度 小数 1 位、有効 3 桁
所 要 日 数	4～6 日	4～8 日
備 考	クレアチン補正值(μg/g・Cr)および濃度 (ng/mL)をご報告いたします。 濃度が <u>0.50ng/mL 未満</u> の場合は、 <u>0.50ng/mL</u> を用いてクレアチン補正し、未満を付記してご報告いたします。	クレアチン補正值(μg/g・Cr)および濃度 (ng/mL)をご報告いたします。 濃度が <u>1.5ng/mL 未満</u> の場合は、 <u>1.5ng/mL</u> を用いてクレアチン補正し、未満を付記してご報告いたします。

※検体量・基準値等の検査要項に変更はございません。
※新旧二法の相関は裏面をご参照下さい。

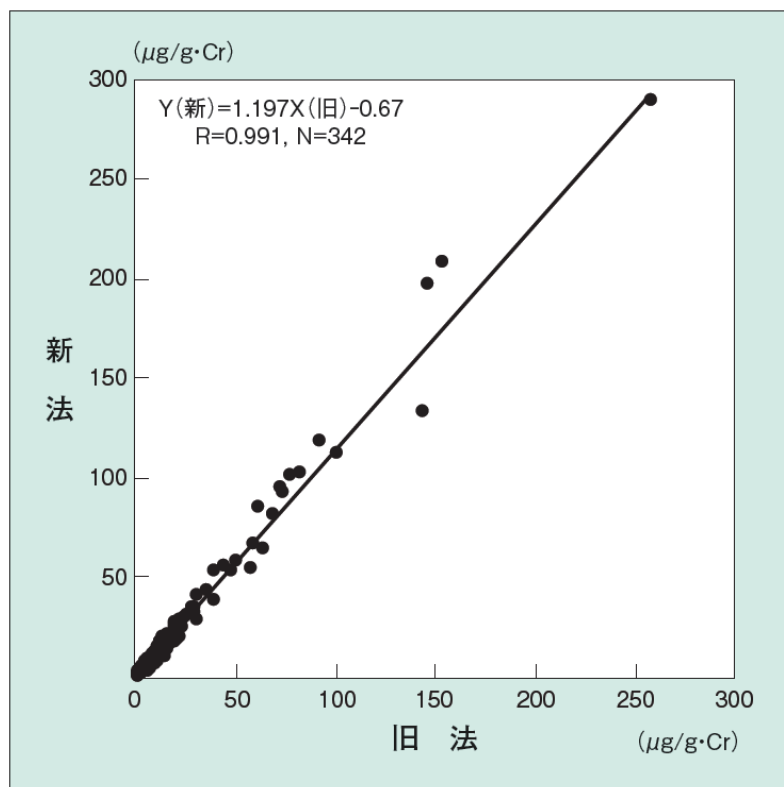
■変更期日

●2016 年 5 月 31 日(火)受付日分より

以上

尿中 L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

■新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)

■参考文献

富田健一郎, 他: 医学と薬学 **72**: 1389-1395, 2015. (検査方法)

Kamijo-Ikemori A, et al: Diabetes Care **34**: 691-696, 2011. (基準値引用元)